

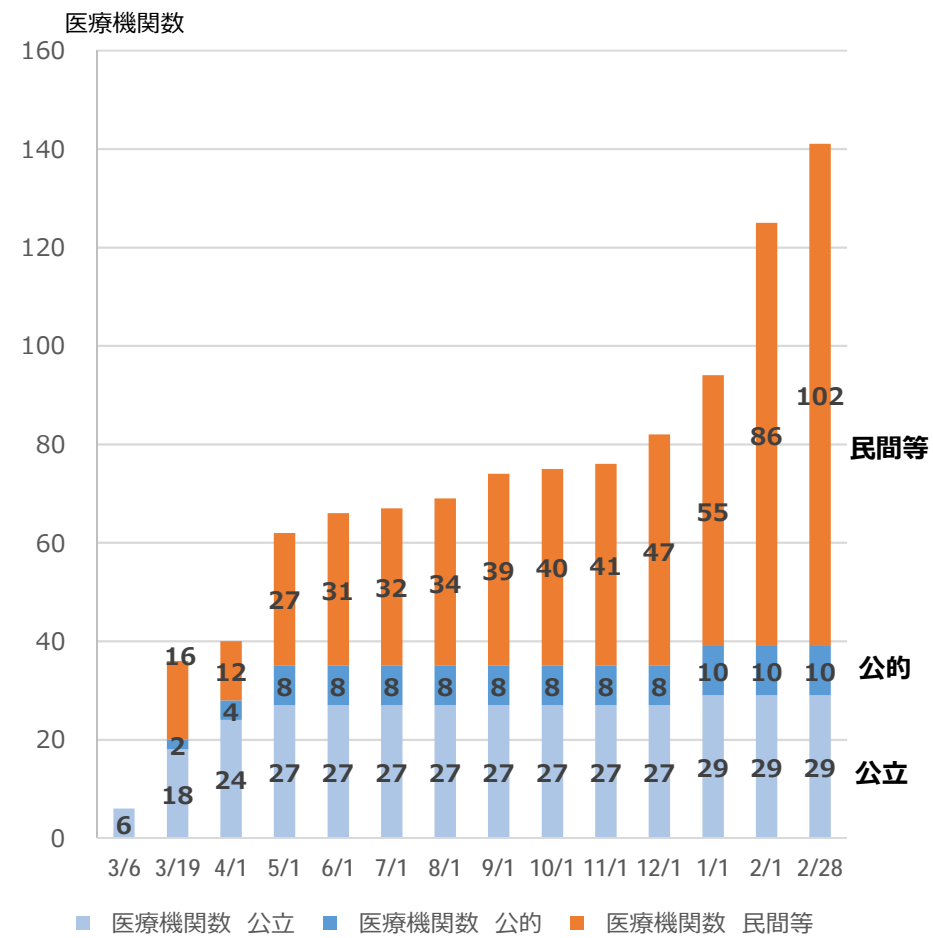
新型コロナウイルス感染症にかかる 今後の入院医療提供体制について

新型コロナウイルス感染症にかかる入院医療体制等の概況①

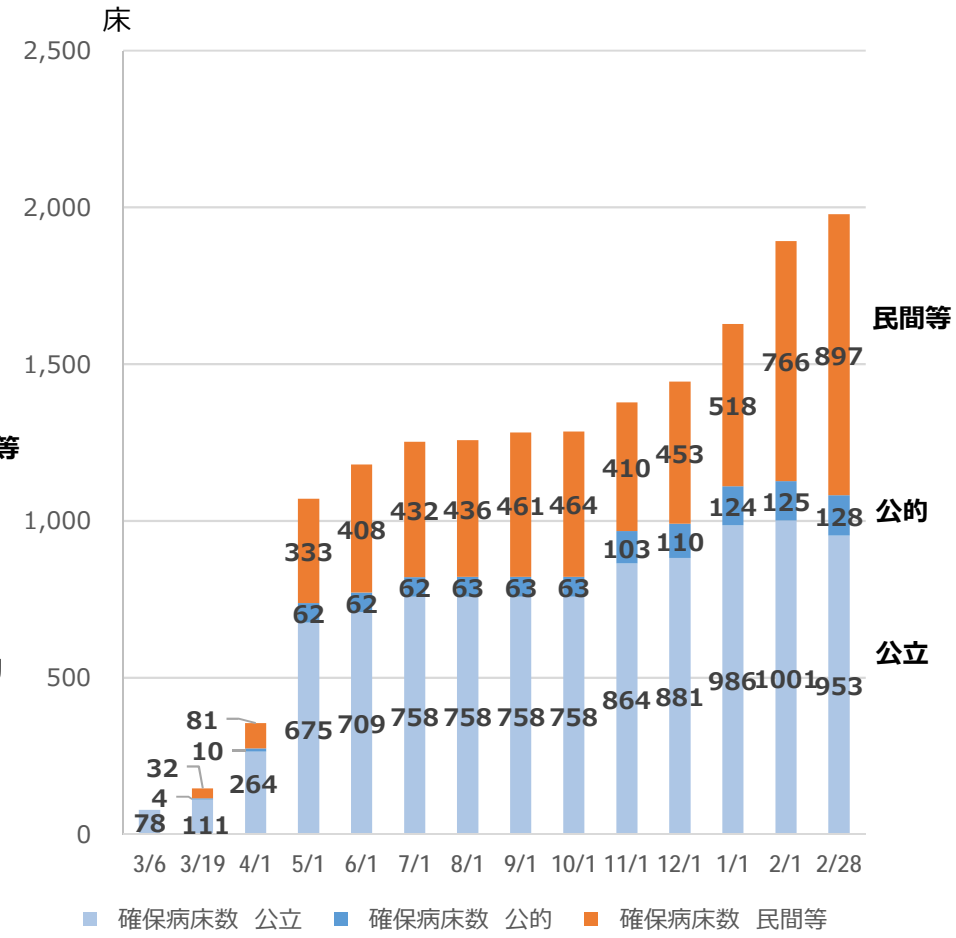
●病床の確保状況①

○令和2年3月から、受入医療機関数・確保病床数は6医療機関78床から、
 現在（令和3年3月9日）141医療機関、1,980床（重症221床、軽症中等症1,759床）に増加。

＜設置主体別 受入医療機関数推移＞



＜設置主体別確保病床数推移＞



第1波 → 第2波 → 第3波

※公立：設置主体（市町村、市立病院機構、大阪府、府立病院機構、国立研究センター、国立病院機構）
 公的：設置主体（日赤・済生会）
 民間等：公立・公的以外医療機関（5大学病院含む）

新型コロナウイルス感染症にかかる入院医療体制等の概況②

●病床の確保状況②

- 一般病床200床以上の病院、地域医療支援病院等の一定規模を有する病院の多くが受入を行っている。
- 民間等の受入医療機関の実績が第3波以降、特に大きく伸びている。

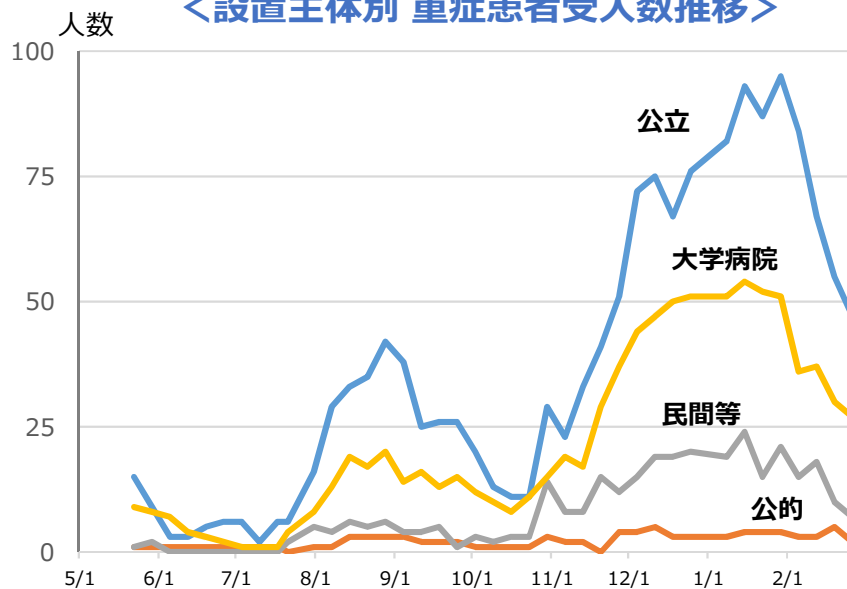
<許可病床数（一般病床）・機能別の受入医療機関の状況>

	200床未満	200床以上 400床未満	400床以上		特定機能 病院	地域医療 支援病院	二次救急 医療機関	感染症 指定機関
医療機関数	409	68	38	医療機関数	7	41	280	6
受入医療機関数	47	52	34	受入医療機関数	5	40	127	6
割合	11.5%	76.5%	89.5%	割合数	71.4%	97.6%	45.1%	100%

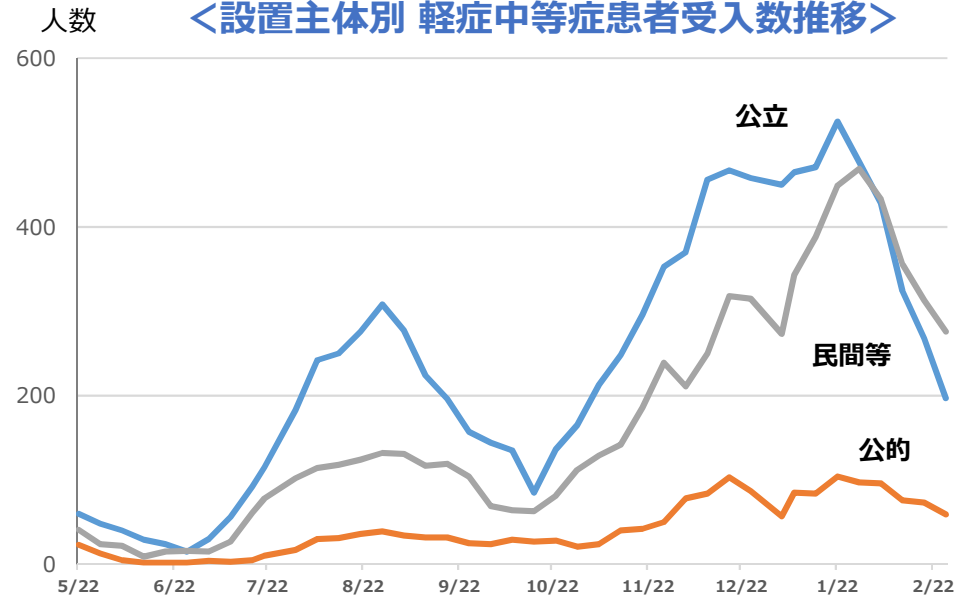
※令和3年3月1日時点

※機能が重複している場合はそれぞれで計上

<設置主体別 重症患者受入数推移>



<設置主体別 軽症中等症患者受入数推移>



※公立：設置主体（市町村、市立病院機構、大阪府、府立病院機構、国立研究センター、国立病院機構） 公的：設置主体（日赤・済生会）
民間等：公立・公的以外の医療機関（5大学病院含む（重症については、5大学病院を別区分として表記））

※患者数：入院フォローアップセンターのヒアリング結果に基づく

新型コロナウイルス感染症にかかる入院医療体制等の概況③

●新型コロナウイルス感染症患者受入医療機関・病床の現況(患者特性別)

○患者特性別病床では、令和2年11月以降、受入困難な事例が生じていた透析患者対応可能病床は、府の支援制度の開始後、一定確保が進み、確保数は82床（うち軽症中等症58床）となった。

<受入医療機関数（令和2年12月18日現在）>

	妊産婦	新生児	小児	精神疾患	透析	がん
重症	4	1	7	5	11	11
軽症中等症	10	4	14	4	11	21
総数	14	5	19	9	20	29

<受入医療機関数（令和3年2月28日現在）>

	妊産婦	新生児	小児	精神疾患	透析	がん
重症	4	1	8	5	13	11
軽症中等症	10	4	15	8	18	23
総数	14	5	23	13	31	34



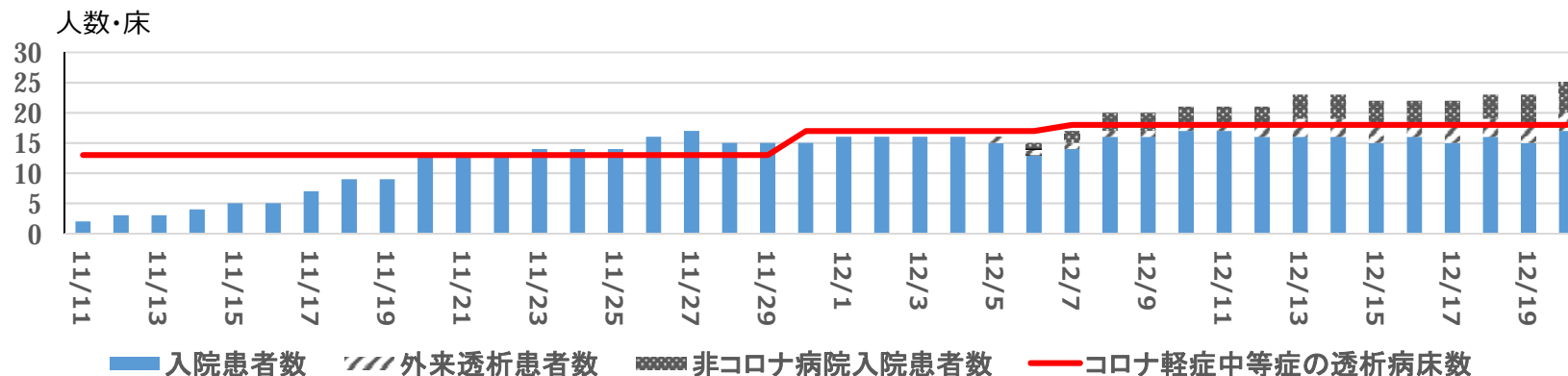
<確保病床数（令和2年12月18日現在）>

	妊産婦	新生児	小児	精神疾患	透析	がん
重症	7	1	13	28	24	39
軽症中等症	45	4	63	31	22	192
総数	52	5	76	59	40	231

<確保病床数（令和3年2月28日現在）>

	妊産婦	新生児	小児	精神疾患	透析	がん
重症	7	1	16	34	24	34
軽症中等症	46	5	60	53	58	214
総数	53	6	76	87	82	248

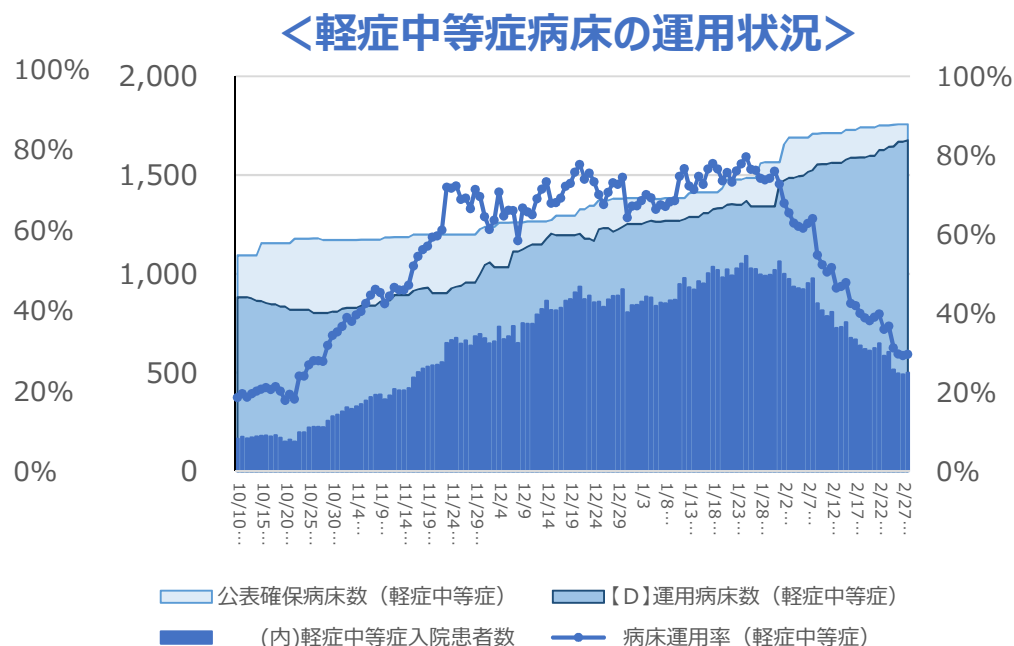
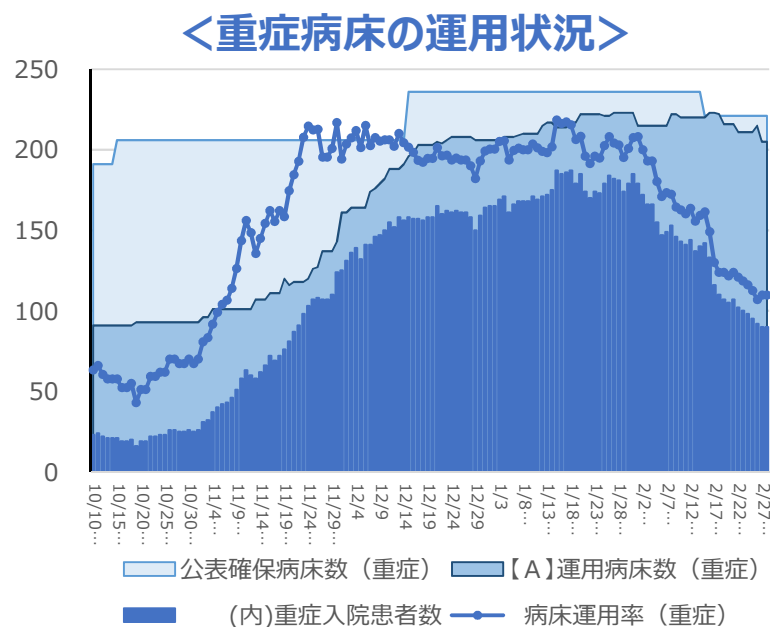
<第3波（令和2年12月中旬まで）におけるコロナ軽症中等症の透析患者の入院状況>



新型コロナウイルス感染症にかかる入院医療体制等の概況④

●第3波における病床運用の状況

- 第3波における病床の最大運用数は重症223床（1月27日～30日、2月16日、17日）、軽症中等症1,676床（2月28日）であった。
- 一方、最大入院者数は、重症187人（1月15日、18日）、軽症中等症1,091人（1月25日）となり、最大病床運用率(入院患者数/実運用病床数)は、重症87.4%（1月15日）、軽症中等症79.7%（1月25日）に達した。



- 第3波における診療実態等に基づき、各受入医療機関に対し改めて最大確保可能病床を確認した結果、重症病床の「確保病床数」は236床から221床に更新。

現在の課題①（病床の更なる確保）

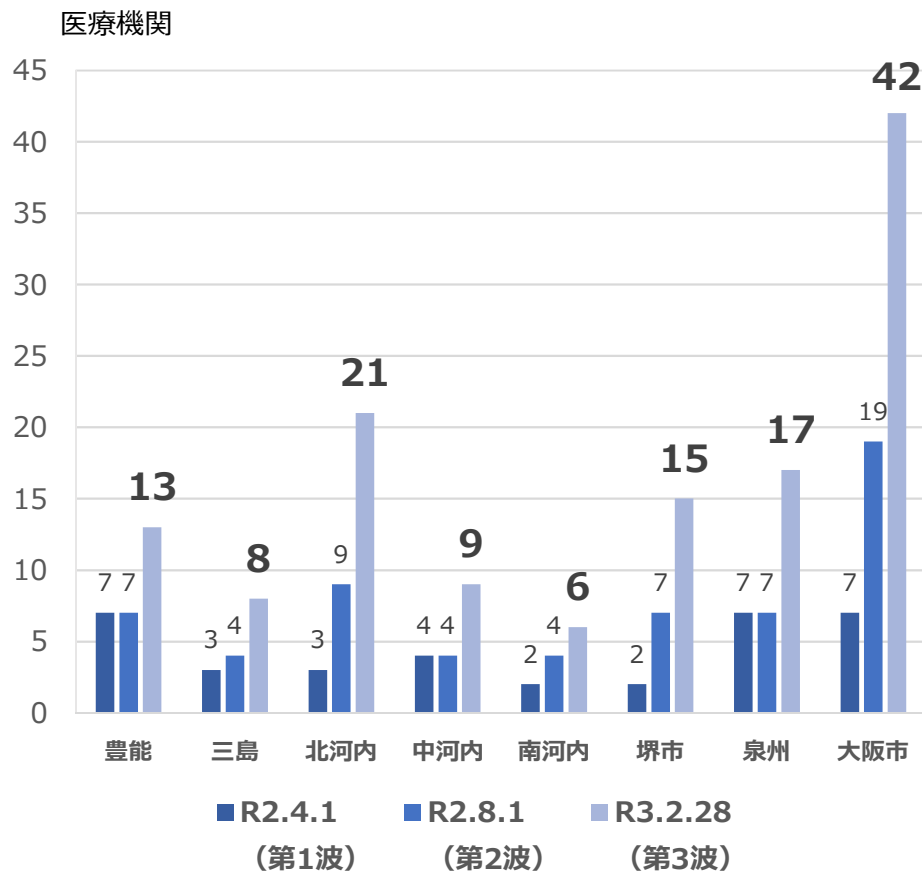
国内においても変異株が確認されていることから、今後、さらなる感染拡大が生じる可能性を踏まえ**病床の拡充が必要**。

新型コロナウイルス感染症にかかる入院医療体制等の概況⑤

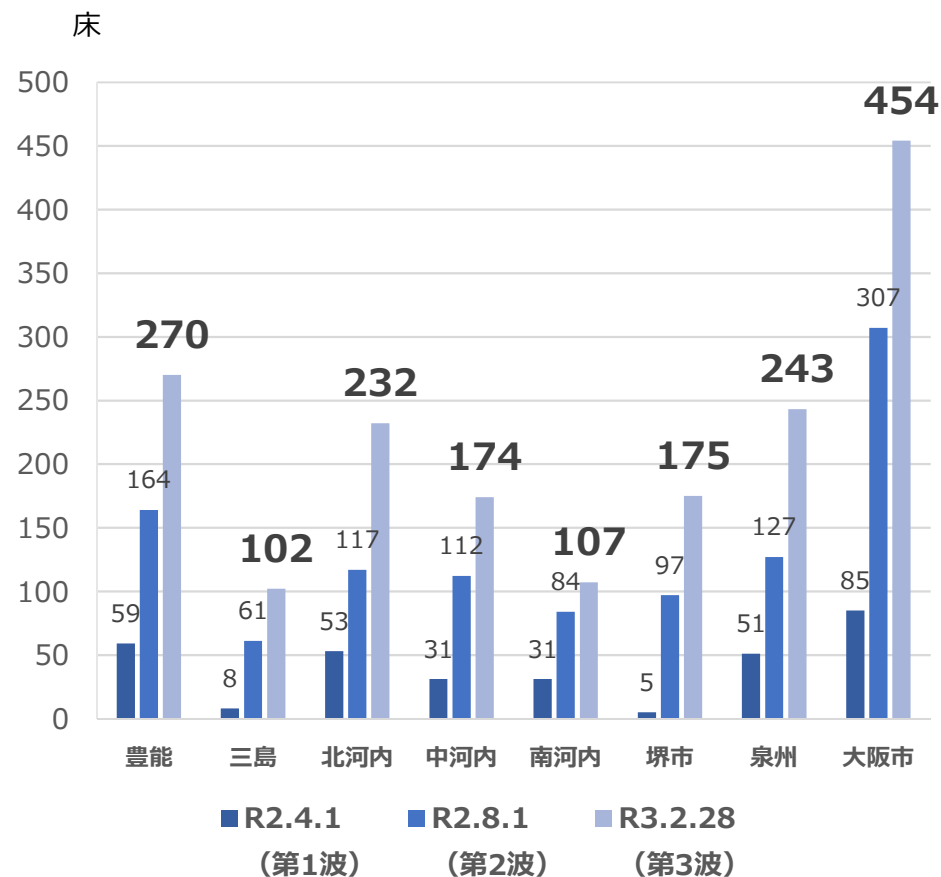
●二次医療圏ごとの軽症中等症病床確保状況等①

○二次医療圏毎に、病床確保が進んでおり、地域ごとの体制が確保出来つつある。

＜軽症中等症 受入医療機関数推移＞



＜軽症中等症 確保病床数推移＞

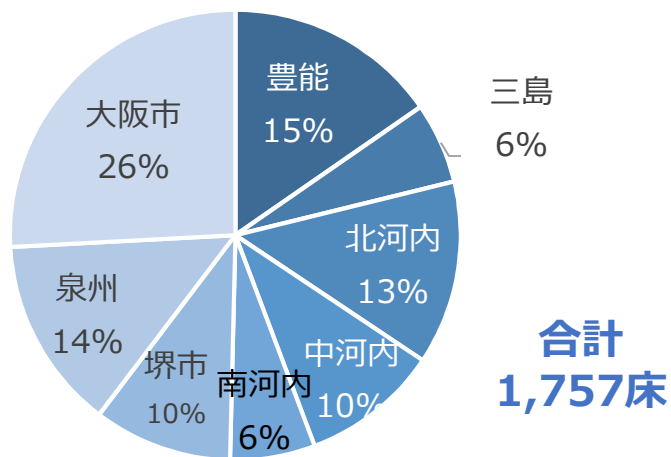


新型コロナウイルス感染症にかかる入院医療体制等の概況⑥

●二次医療圏ごとの軽症中等症病床確保状況等②

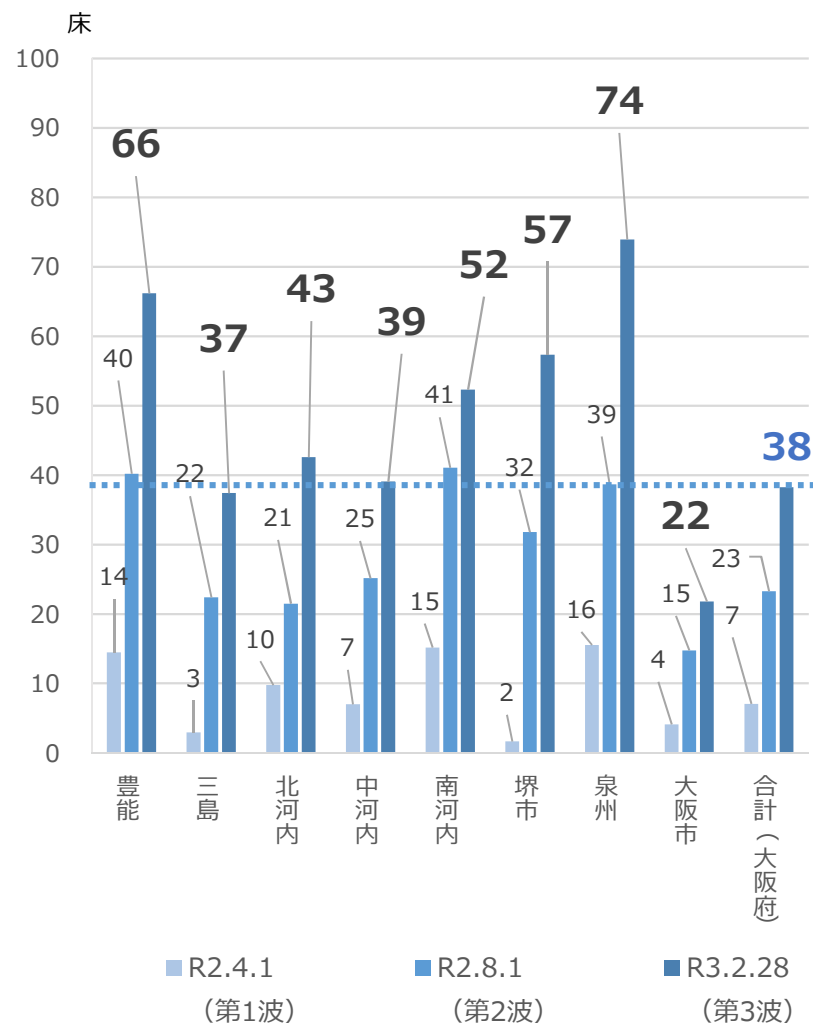
○二次医療圏毎に、病床確保が進んでおり、地域ごとの体制が確保出来つつある。

＜圏域別軽症中等症確保病床数割合＞

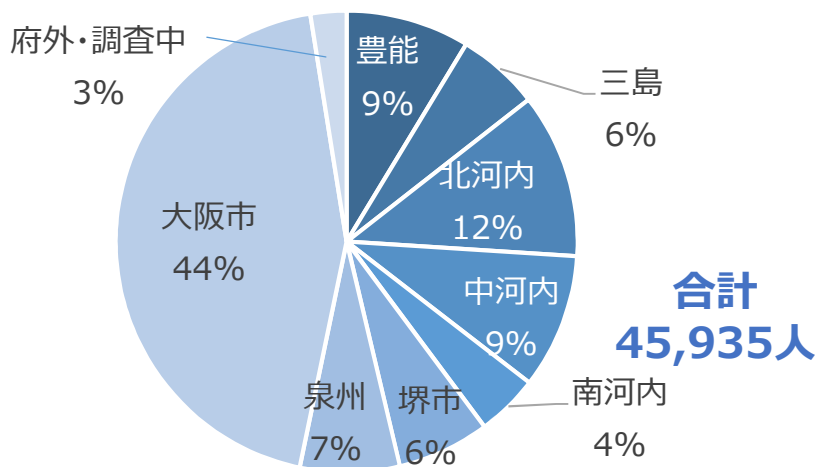


※令和3年2月28日時点

＜圏域別累計患者数1,000人あたり
軽症中等症確保病床数 推移＞



＜圏域別累計患者数割合＞



※令和3年2月28日時点

新型コロナウイルス感染症にかかる入院医療体制等の概況⑦

●後方支援医療機関の状況等

○コロナ回復患者受入に係る診療報酬上の加算措置

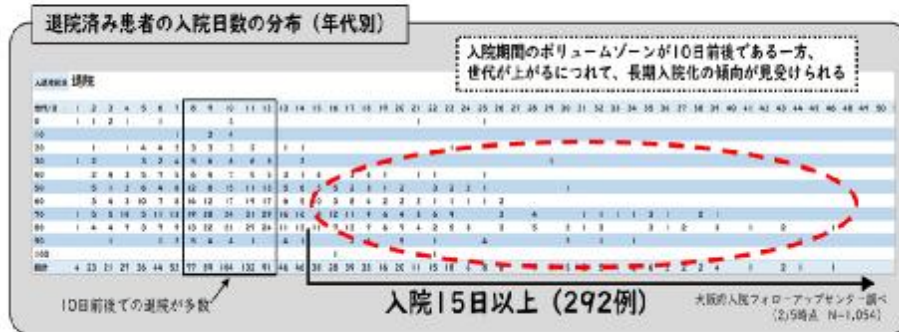
⇒ 二類感染症患者入院診療加算（3倍）750点算定可能（令和2年12月15日～）
救急医療管理加算（950点）を最大90日間算定可能（令和3年1月22日～）

○第3波感染拡大状況を踏まえ、府内の療養病床を持つ医療機関に対してアフターコロナの患者を受け入れる後方支援病院として協力依頼を行った結果、124病院・最大825床（2月24日時点）を確保（12月11日時点の16病院から大幅に増加）、リスト化のうえ、コロナ患者受入病院、保健所等に情報提供

<コロナ患者受入医療機関からのヒアリング結果から見た入院の実態>

▶入院期間について

中等症・軽症で入院した患者（2/5時点、退院確認済み1,054例）
⇒およそ3割（292例（27.7%））が15日以上入院



▶長期化理由について（入院20日以上）

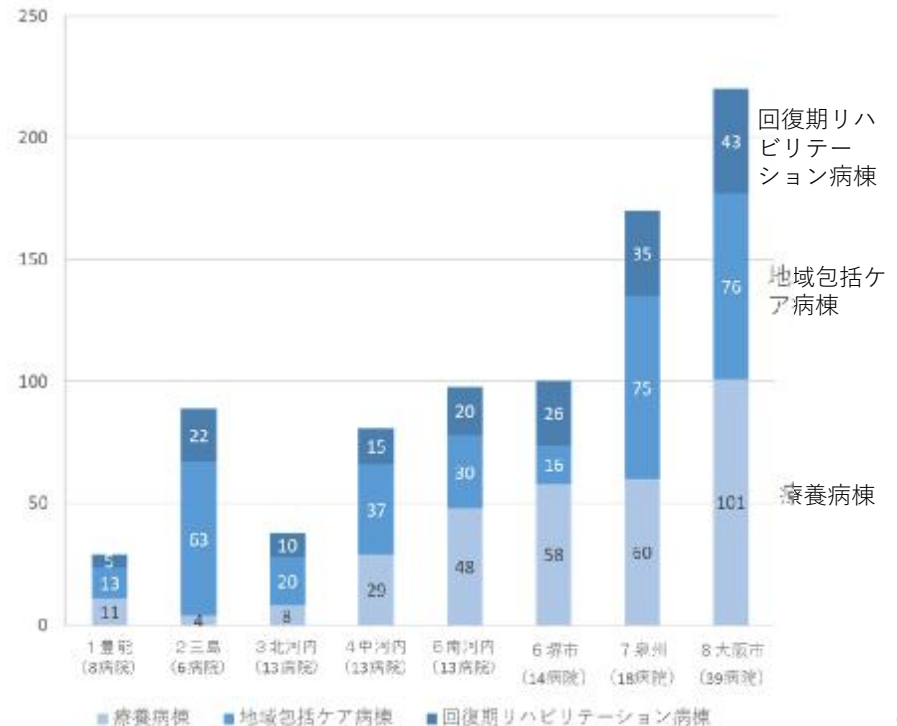
- ・転院調整中 42件
 - ・受入先なし 5件
 - ・コロナ以外の疾患 27件
 - ・その他 39件
 - ・コロナ症状が継続 74件
- 113件（60%）

（2/5時点入院中及び退院済み患者、回答全187件）

コロナ受入病院へのヒアリングからみえた実態

長期入院患者の6割が「コロナ感染症の症状以外」の理由により入院を継続している

<後方支援医療機関の状況等（令和3年2月24日時点）>



新型コロナウイルス感染症にかかる入院医療体制等の概況⑧

現在の課題②（病院連携の場の提供）

各圏域ごとの病床確保が進む一方で、新型コロナに係る医療データについて、医療機関との情報共有の場がない。

入院調整の円滑化や一般医療の影響を踏まえた新型コロナの入院医療体制を構築するためには、機能分担について議論する場が必要。

現在の課題③（転院・退院の支援）

限られた医療資源を最大限活用するため、退院基準等を満たした患者のスムーズな転院・退院支援が必要。

新型コロナウイルス感染症にかかる入院医療体制等の概況⑨

●第3波における宿泊療養の状況

- 宿泊療養者数は最大1,225人（1月12日）に達し、1日最大240人が入所。宿泊施設を9つ開設し療養者の急増に対応。
- 薬剤が必要な方へのオンライン診療実施や、パルスオキシメーター(1人1台)、ウェアブルデバイスを配備するなどの健康観察を強化。

●第3波における自宅療養の状況

- 自宅療養者数は最大2,820人（1月16日）
- 協力機関による電話等の診療及び薬剤の処方の実施や、必要に応じパルスオキシメーターを自宅に配送するなど健康観察を強化。
- 希望した自宅療養者に対し、配食サービスを実施。（府管轄保健所管内11月～、政令・中核市を含む府下全域1月～）

「参考」 神奈川県、京都府において自宅療養者への訪問診療の試行実施。大阪府においても今後あり方について検討

＜大阪府の宿泊療養者数の推移＞



＜大阪府の自宅療養者数の推移＞



今後の方針

●方針1 新型コロナウイルス感染症患者受入病床の拡充

○重症病床の確保

新たに、プレハブの整備等により重症病床等の確保に取り組む
医療機関を公募し、整備費用を支援する。

【予算案の概要】

医療機関に対し重症病床整備に係る建物や医療機器のリース料等を補助
(予算額：15億円 ※30床程度を想定)

○変異株への対応

今後、感染拡大が懸念される変異株については、感染状況、国の方針（療養方法や退院基準等）に注視し、病床の更なる確保など必要な対応を行う。

●方針2 病院連携の場の開催

陽性患者受入医療機関と退院基準等を満たした患者を受入れる
医療機関との医療機関連携を進めていくため、
各二次医療圏において、病院関係者と医療機能の実態等を共有していく。

●方針3 転院・退院の支援

退院基準等を満たした患者の転院支援を継続的に行い、
病床を効率的に運用していく。

●方針4 宿泊・自宅療養の取組

療養者数の急激な増に備え、宿泊施設の適切な確保及び宿泊・自宅療養者への
療養体制整備を引き続き実施。

方針の詳細①（病院連携の場の開催）

● COVID-19病院連絡会（新型コロナウイルス感染症関係病院連絡会）の開催

【目的】

「Covid-19陽性患者受入医療機関」と「退院基準等を満たした患者受入医療機関」間の医療機関連携推進

【設置単位】

二次医療圏別（地域の実情に応じて、保健所別において実施する場合もある）

【参加者】

Covid-19陽性患者受入医療機関、後方支援医療機関、地区医師会等

【情報共有・意見交換の内容（例）】

- ①新型コロナウイルスの感染状況
- ②各圏域での新型コロナウイルス感染症患者等の受入状況
- ③新型コロナウイルス感染症にかかる大阪府の取り組みについて
- ④各病院の対応状況等について

【開催期間】

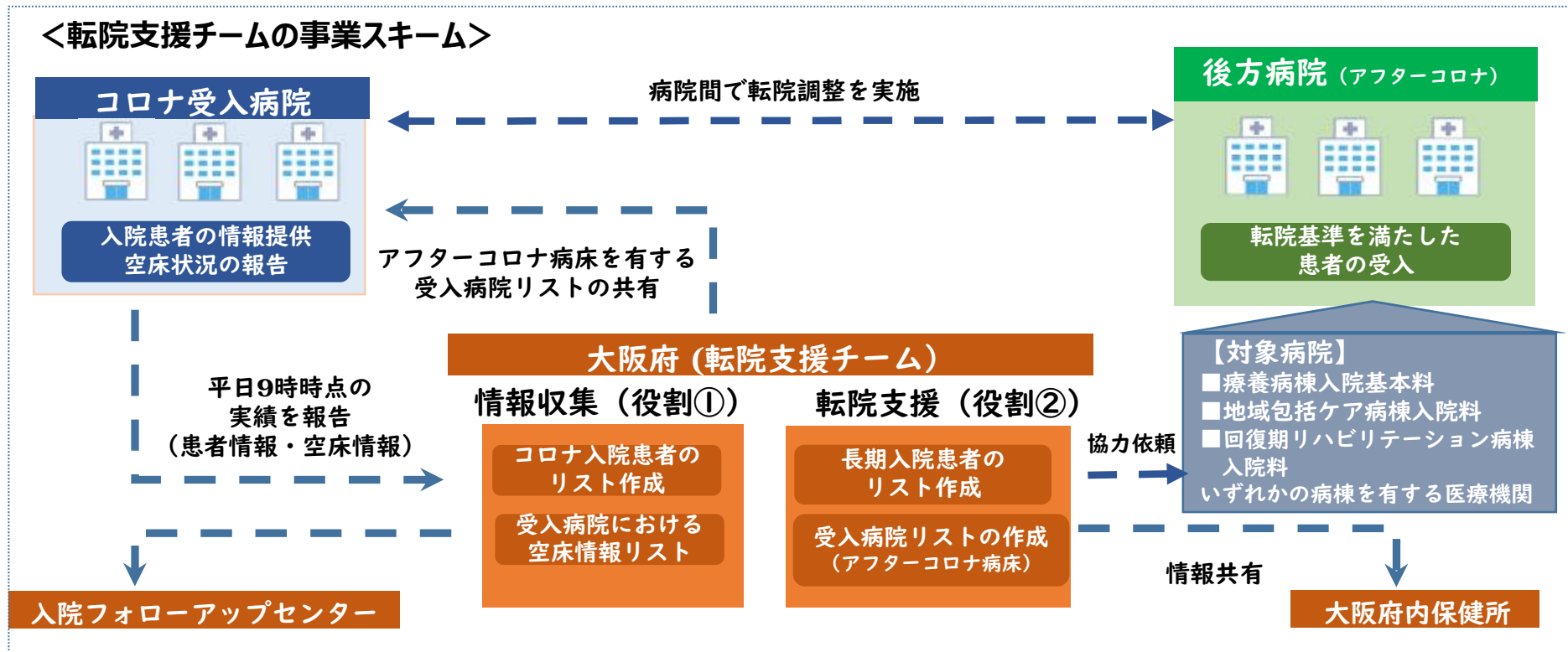
令和3年3月下旬から4月にかけて二次医療圏毎に実施予定

提供資料（例）

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none">1 新型コロナウイルス感染症の感染状況2 医療体制の状況<ul style="list-style-type: none">・受入医療機関数の推移・患者受入病床の推移・後方支援医療機関の状況 | <ol style="list-style-type: none">3 各医療機関別の状況<ul style="list-style-type: none">・患者病床数（妊産婦、小児、精神疾患、透析患者別等）・患者受入状況 |
|--|---|

方針の詳細②（転院・退院の支援）

●退院基準等を満たした患者の円滑な転院支援



【具体的取組み内容】

- ① コロナ退院基準等の更なる周知徹底
- ② コロナ入院患者データの情報収集・精査
- ③ 退院基準等の満たした患者の受入可能病院リストの作成（アフターコロナ病床）

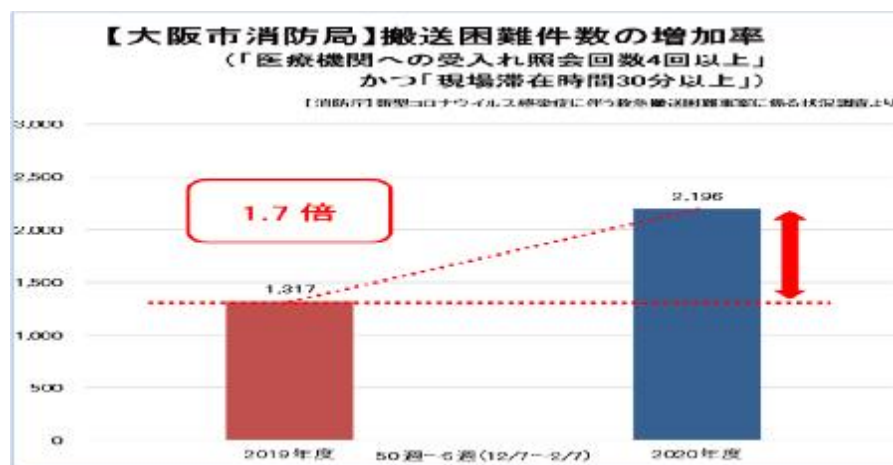
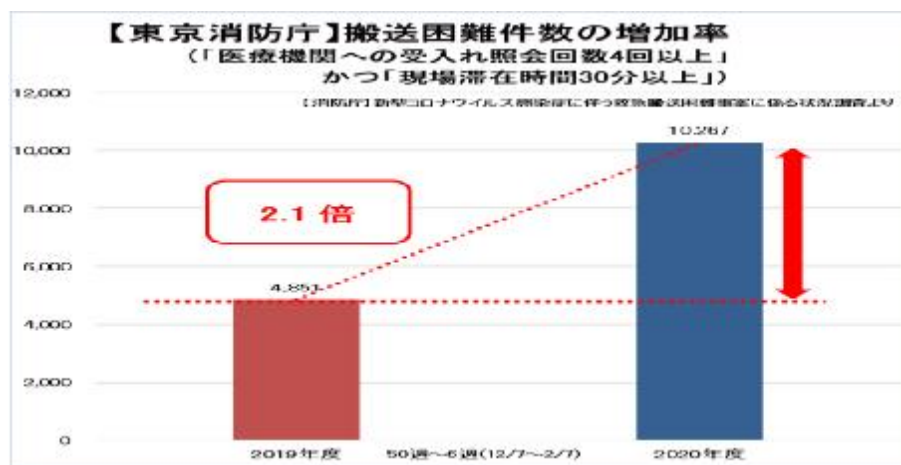
【今後の取組み】

精神科病院を含む残る府内全病院（コロナ受入病院を除く約**200**病院が対象）に後方支援病院への協力依頼
⇒ 3月中旬を目途に全病院を対象とした後方支援病院リストの作成、コロナ患者受入病院、保健所へ情報提供
（以降、月1回程度のデータ更新を予定）

<参考> 救急受入体制の状況

● 救急医療の状況

- 第3波において、新規陽性患者数が最も多かった1月8日の前後1か月の救急搬送の状況は、搬送困難件数は増加したが、搬送件数は昨年度同時期と比較すると各圏域で1割から2割減少した。
- なお、消防庁の調査によると、大阪市消防局管内の搬送困難件数の増加率は、東京消防庁管内と比較するとそれほど高くはなかった。



＜参考＞医療提供体制の状況

【出典】新型コロナウイルス感染拡大による病院経営状況の調査（大阪府所在83病院回答結果）

＜一般社団法人日本病院会、公益社団法人全日本病院協会、一般社団法人日本医療法人協会＞

■外来患者統計

n=83

(単位：平均人数)	2019年			2020年		
	10月	11月	12月	10月	11月	12月
外来患者延数	11,250	10,739	10,977	10,730	9,625	10,006
初診患者数	1,207	1,175	1,219	1,133	1,051	986
(再掲) 紹介状あり	483	457	445	460	397	381

■手術・内視鏡等件数

(単位：平均件数)	病院数	2019年			2020年		
		10月	11月	12月	10月	11月	12月
手術件数(手術室)	63	272	267	261	268	242	238
定例手術	47	227	223	217	225	206	196
緊急手術	47	33	32	33	30	28	32
検査・治療(内視鏡)	60	469	440	433	473	419	397
検査・治療(血管造影)	49	74	73	75	83	76	77

■入院患者統計

n=83

※数値は平均値	2019年			2020年		
	10月	11月	12月	10月	11月	12月
月間日数(日)	31	30	31	31	30	31
在院患者延数(人)	8,280	8,048	8,122	7,888	7,642	7,682
新入院患者数(人)	478	462	468	446	427	416
退院患者数(人)	474	472	499	464	418	462
入院患者延数(人) ※1	8,754	8,520	8,621	8,353	8,060	8,145
病床利用率(%) ※2	82.8	83.4	82.4	79.7	79.7	77.8

※1：在院患者延数+退院患者数

※2：在院患者延数÷(月間日数×許可病床数_合計)×100

■救急受入件数

n=71 (該当病院数)

	2019年			2020年		
	10月	11月	12月	10月	11月	12月
平均値 救急患者受入件数	522	519	635	450	453	458
うち、救急車受入件数	225	222	247	208	199	204
総数 救急患者受入件数	37,048	36,852	45,094	31,943	32,131	32,495
うち、救急車受入件数	15,960	15,774	17,527	14,797	14,120	14,497